必修科目Ⅰ	臨床統計学 Clinical Biostatistics DM_2002	単 位	1 単位
		区 分	必修
科目責任者	宮田 敏 教授 （大学院公衆衛生学研究科）	授業形態	講義・演習

概要	受講者には、基本的な臨床研究デザインに応じた解析法を選択し、実際に統計解析ソフトRを用いて分析し、その結果をまとめる能力を身につけることが期待される。
到達目標	臨床研究を実施する上で基本となるデータの要約、推定・検定の考え方、連続量の平均値の比較、頻度の比較、生存時間の比較、それぞれの交絡要因の調整について、その理論とRを用いた実際の解析を修得することを目標とする。
事前事後学修	2回目以降は前回の復習をし、提出した課題について、その意味を理解し、同じ問題が出たときに対処できるようにしておくこと。 1回の授業に対して、予習・復習それぞれ30分程度が必要である。
評価方法	授業態度、積極性(20%)と課題提出(80%)
教科書・参考書	参考書 医学への統計学(第3版) 古川俊之監修 丹後俊郎著 朝倉書店 2013年 The R Tips（第3版） データ解析環境Rの基本技・グラフィックス活用集 舟尾暢男著 オーム社 2016年
履修上の注意事項	試験やレポート等に対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。 この科目と学位授与方針との関連をカリキュラムマップを参照し理解すること。
オフィスアワー	宮田 敏 メールアドレス：smiyata@med.teikyo-u.ac.jp メールによる問い合わせ。若しくはアポイントメントによる

No.	月日	時間	講義・演習タイトル	担当者	備考
1	5/29(土)	13:30-15:00	データの要約、Rの使い方	宮田 敏 教授 松浦 正明 教授 （公研） 鈴木明日香 講師	大学棟地下1階 PCルーム2
2		15:10-16:40	検定・推定の考え方	宮田 敏 教授 鈴木明日香 講師（公研）	〃
3		16:50-18:20	連続量の比較：2群の平均値の差の検定	宮田 敏 教授 鈴木明日香 講師（公研）	〃
4	6/5(土)	13:30-15:00	連続量の交絡調整： 分散分析、共分散分析、重回帰分析	宮田 敏 教授 鈴木明日香 講師（公研）	〃
5		15:10-16:40	頻度の比較：2群の比率の差の検定と 疫学研究での指標の検定	宮田 敏 教授 鈴木明日香 講師（公研）	〃
6		16:50-18:20	頻度のデータの交絡調整： ロジスティック回帰分析	宮田 敏 教授 鈴木明日香 講師（公研）	〃
7	6/12(土)	13:30-15:00	生存時間の比較：生存時間の推定と検定	松浦 正明 教授（公研）	〃
8		15:10-16:40	生存時間の交絡調整：コックス回帰分析	松浦 正明 教授（公研）	〃

※講義日程の変更・追加の連絡等がある場合、登録されているメールアドレスに連絡します。

※この科目は、1月に開催されるハーバード特別講義（生物統計学）の受講によって単位認定が可能です。（講義は全て英語）
詳細は事務部までお問い合わせください。